

令和3年度 全九州高等学校体育大会
第75回 全九州高等学校ボクシング競技大会

実 施 要 項



2021

主 催 九州高等学校体育連盟
佐賀県教育委員会

後 援 公益財団法人佐賀県スポーツ協会
佐賀市教育委員会
九州ボクシング連盟

主 管 佐賀県高等学校体育連盟
佐賀県ボクシング連盟

1 期日・会場

(1) 開 会 式 コロナ対策の為中止

(2) 競 技

日 時 令和3年6月25日(金) 10時30分開始

 令和3年6月26日(土) 10時30分開始

 令和3年6月27日(日) 10時30分開始

会 場 SAGAサンライズパーク総合体育館(SAGAプラザ)ボクシング場

(3) 閉 会 式 団体表彰のみ実施(1位2名・2位1名・3位1名はリング上へ)

日 時 令和3年6月27日(日)競技終了後

会 場 SAGAサンライズパーク総合体育館(SAGAプラザ)ボクシング場

(4) 諸 会 議

会 議 名	期 日	会 場
組み合わせ抽選会	6月11日(金)14時	SAGAサンライズパーク総合体育館
ｽﾎﾟｰﾂｲﾝﾄﾘｰｽﾞ ﾁ ﾈｯｸ	6月24日(木)13時	(SAGAプラザ)ボクシング場
専門委員長会議	6月24日(木)14時00分	佐賀県青年会館
監 督 会 議	6月24日(木)15時00分	(ボクシング場の北側に隣設) TEL 0952-31-2328

2 階 級

ピン級からミドル級までの8階級

3 競技規則・方法

(1) 競技規則

(一社)日本ボクシング連盟競技規則による。

特に下記の2項目において徹底させる。

ア．選手は連盟が認める場合を除いては、競技において自分が通学する学校以外の学校名・社名・商標・社章等が記載されたユニホームを着用してはならない。(アマチュア規則の適用基準より)

イ．大会(予選を含む)には、学校対抗の選手として参加を許可するものであり、ユニホーム等は所属校が認めるものを着用しなければならない。(競技者に関する別途規定より)

(2) 競技方法

ア．個人戦とするが、学校対抗を兼ねる。

イ．トーナメント方式で行い、優勝・準優勝・3位2名を決定する。但し、3位・4位決定戦は行わない。

ウ．A、Bパートに分けて競技する。但し、Aパートは各県1位の者、Bパートは各県2位の者とする。

(3) 得点規定

ア．抽選の不戦勝を除いて、1勝毎に勝ち点1点を加点する。

イ．優勝には5点・準優勝には3点・3位には1点を加点する。

ウ．トーナメントの最初の試合では健診・計量をクリアしリングに上がらなければ順位点は与えない。前日の勝者が、翌日の試合に欠場する場合は本人または代理人が受付で申告することにより、健診・計量を受けなくても順位を与える。

- (4) 学校別順位決定法
 - ア．Aパートのみの得点とする。
 - イ．個人の得点の合計点で決定する。
 - ウ．同点の場合は、優勝者の数による。
 - エ．イ，ウが同点の場合は、2位の数による。
 - オ．イ，ウ，エが同点の場合は、3位の数による。
 - カ．オで決定しない場合は、同順位とする。

4 引率・監督について

- (1) 引率責任者は、団体の場合は校長の認める当該校の職員とする。また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」(地方公務員法第22条の2に示された者)も可とする。但し、当該県高体連会長に事前に届けること。
- (2) 監督・コーチ等は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入することを条件とする。
- (3) 但し、各県における規定が定められ、引率・監督者がこの基準より限定された範囲であれば、その規定に従うことを原則とする。
- (4) セカンド
 - ア．セカンド資格の有取得者であること。
 - イ．事前に申請した者であること。
 - ウ．チーフセカンドは日本ボクシング連盟公認のB級セカンド資格以上を有する者であること。またセカンドを行う者(指導者)は、日連が定期に実施するインテグリティ研修に必ず参加しなければならない。セカンド手帳を提出し実績の証明を受けることとする。

5 参加資格

- (1) 参加者は、各県高等学校体育連盟に加盟している生徒で、本競技実施要項により九州大会の参加資格を得たものに限る。(1位から順次出場させること)
- (2) ボクシングのトレーニングを開始して6ヶ月以上経過した者であること。今年度、初めて登録した選手は(一社)日本ボクシング連盟に実戦競技出場資格証明書を提出済であること。
- (3) 平成14(2002)年4月2日以降に生まれたものとする。但し、出場は同一競技3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。
- (4) チーム編成において全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。
- (5) 統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。
- (6) 転校後6ヶ月未満の者は参加を認めない(外国人留学生もこれに準ずる)。但し一家転住等やむを得ない場合は、各県高等学校体育連盟会長の認可があれば、この限りではない。
- (7) 出場する選手はあらかじめ健康診断を受け、在学する学校の校長及び所属高等学校体育連盟会長の承認を必要とする。
- (8) 参加資格の特例による学校の参加については、全九州高等学校体育大会開催基準要項のとおりとする。
- (9) 健診・計量は性別・階級毎に受付を行う。(受付時間に遅れた場合は失格となる。)

6 参加制限

- (1) 各県各階級2名以内とする。但し、Aパートは1位、Bパートは2位の選手とする。
- (2) 監督、コーチ、チーフセカンド、またはサブセカンドは各参加校1名(サブセカンドについては生徒も可)とする。
- (3) 外国人留学生の参加については、エントリー数の20%まで認める。

7 参加申込

(1) 申込締切日 令和3年6月9日(水)必着のこと。

(2) 申込方法

ア.参加申込書は、下記の(4)に示すホームページから参加申込の様式をダウンロードし作成すること。〔参加申込書専門委員長用については、各県高体連会長印を押印(朱印)、1部を原本として作成し、他2部についてはそれをコピーする。同様に、参加申込書各校配布用についても所属学校長・各県高体連会長印を押印(朱印)、1部原本として作成し、他2部についてはそれをコピーする〕

イ.各県高等学校体育連盟競技専門部で取りまとめ、下記の申込先へ2部(原本(押印(朱印)したものを含む)を下記へ送付し、1部は所属高体連の控えとする。

ウ.各県専門委員長は参加申込書の電子データを下記(3)の申込先に示すメールアドレスまで、電子メールで送信すること。

(3) 申込先

〒849-2101 佐賀県杵島郡大町町大字大町 2039

佐賀県立白石高等学校 商業科キャンパス

佐賀県高体連ボクシング専門委員長 森田 隆宏

TEL 0952-82-3241

FAX 0952-71-3008

メールアドレス morita-takahiro@education.saga.jp

(4) 九州高等学校体育連盟 <http://kyushu-koutai ren.jp/>

(5) 申し込み後の選手及び階級の変更はできない。

8 参加負担金

(1) 1名 1,800円

(2) 納入方法

ア 各県高等学校体育連盟競技専門部で取りまとめ、下記の口座に振り込むこと。また、振込依頼書の写しを参加申し込み時に同封すること。

イ 振込先

指 定 銀 行	佐賀銀行 江北出張所
口 座 番 号	普通預金 3024058
口 座 名 義	佐賀県高等学校体育連盟 ボクシング専門部

(3) 納入期限

令和3年6月9日(水)

9 組み合わせ・抽選

6月11日(金)14時~SAGAサンライズパーク総合体育館(SAGAプラザ)ボクシング場で行う。(原則として、開催県高等学校体育連盟理事長が同席する。

九州専門委員長の同席も可とする。)

10 表 彰

個人、団体ともに3位まで表彰し、個人の表彰は準決勝・決勝の試合後に行い、団体の表彰は閉会式で行う。

11 健診及び計量

日 時	場 所
6月25日(金) 7時30分	SAGA サンライズパーク総合体育館(SAGA プラザ)小競技場
6月26日(土) 7時30分	
6月27日(日) 7時30分	佐賀県青年会館(ボクシング場の北側に隣設)

- (1) 選手手帳を持参することとし、不携行の場合は出場させない。
7時20分より受付を開始し階級によって時間区分を行う。詳細については監督会議の際に発表する。
ア．選手手帳には写真を貼り、当大会の決勝戦までの試合結果を記入できる記録欄があること。(コピーは不可。)
イ．選手手帳を更新した場合は、前の手帳も持参すること。
ウ．選手手帳にCTや心電図の結果が記入されていること。
- (2) スポーツエントリーズチェックについては、6月24日(木)13時より競技会場(SAGA サンライズパーク総合体育館(SAGA プラザ)ボクシング場)で行う。
<チェック項目>選手手帳・健康申告書・ユニホーム(赤・青)
- (3) 計量はパンツ(スパッツは認めない)以外は裸で行い、選手が希望すれば、全裸で計量器に乗ることができる。

12 宿 泊

- (1) 参加者の宿泊は大会事務局の指定宿舎とする。
配宿は、大会事務局で決定し、各チームに通知する。
- (2) 下記のホームページよりダウンロードし必要事項を記入の上、3部作成すること。
各県高等学校体育連盟競技専門部で取りまとめ、2部(原本(押印(朱印)したものを含む)は参加申込書に同封し送付すること。1部は所属高体連の控えとする。
- (3) 宿泊料金は1人当たり1泊2食8,000円(税・サービス料込)を上限とし、昼食弁当代は600円(税込)を上限とする。但し、宿泊料金においては欠食控除を認めない。
- (4) 宿舎決定後の宿泊人数の変更については、当該校の引率責任者が直接ホテルへ連絡を取り、相互で確認すること。
- (5) 昼食弁当については、引率責任者が必要数を取りまとめて、前日の17時までに大会事務局に申し込むこと。

13 参加上の注意

- (1) 参加選手は、必ず健康保険証・選手手帳・試合用具(ユニホーム・トランクス・バンテージ・マウスピース・ヘッドギア・カッププロテクター・シューズ等)を持参すること。
ア．競技用ヘッドガードは前頭部及び側頭部には学校名などの記入(刺繍も含む)のないもので、(一社)日本ボクシング連盟及びAIBAの検定品で、劣化していない競技用に限る。
イ．競技用ユニホーム・トランクス・については各コーナー色のもの(赤色及び青色)に限る。ベルトラインは6cm~10cm幅の白色で区別されていること。ユニホームに都道府県名のないものは、背部にゼッケンを付けること。(但し、郵便葉書2枚大とする)
ウ．マウスピースは赤または赤に類する色のものは使用を認めない。
なお、上記ア、イ、ウの用具、用品については、主催者側では貸与しない。
エ．バンテージについては、(一社)日本ボクシング連盟検定品を使用すること。

- (2) 毛髪などについては、(一社)日本ボクシング連盟医事ハンドブック第5章(2)「毛髪」の項を厳守すること。

「(一社)日本ボクシング連盟医事ハンドブック第5章(2)毛髪」

イ 頭髪：頭髪の長さは眉、耳たぶ、首すじを越えてはならない。額にかかった長髪は視界を妨げるばかりでなく眼球を傷つけることがある。
ロ あごひげ：あごひげはクリンチや衝突で相手の眼球を傷つける危険をもたらすとして禁止されている。同様に口ひげや無精ひげも認められない。

- (3) 競技中の疾病、障害などの応急処置は主催者側の負担とするが、その後の責任は負わない。
(4) 引率責任者は選手の行動に対して全ての責任を負うものとし、選手は高校生としての本分を忘れてはならない。
(5) その他
前年度団体優勝校は、必ず優勝旗を持参すること。

14 個人情報及び肖像権に関わる取り扱いについて

- (1) 参加申込書に記載された個人情報の取り扱い
ア 大会プログラムに掲載されます。
イ 競技会場でアナウンス等により紹介されることがあります。
ウ 競技会場外の掲示板等に記載されることがあります。
エ 組み合わせ等の内容が大会関連ホームページに掲載されることがあります。
オ 氏名・学校名・学年については、報道の正確性を期するため、大会開催前に報道機関に提供することがあります
- (2) 競技結果(記録)等の取り扱い
ア 新聞・雑誌及び全九州高等学校体育連盟等関連ホームページ等で公開されることがあります。
イ 大会プログラム掲載の個人情報とともに掲載されます。
ウ 新記録、優勝校及び上位入賞結果(記録)等は、次年度以降のプログラムに掲載されることがあります。
- (3) 肖像権に関する取り扱い
ア 各県高体連で許可を受けた雑誌・新聞及び全九州高等学校体育連盟等関連ホームページで公開されることがあります。
イ 各県高体連で許可を受けた映像が競技結果報道等に配信されることがあります。
- (4) 対応について
ア 取得した個人情報を前記利用目的以外に使用されることはありません。
イ 参加申込書の提出により、前記取り扱いに関するご承諾をいただいたものとして、対応させていただきます。
ウ 大会役員、競技役員、運営役員、その他各種の委員や補助員等大会関係者及び会場に来られた観客の皆様につきましても、前記取り扱いに関するご承諾をいただいたものとして対応させていただきます。

15 全国大会出場権について

ピン級・ウェルター級・ミドル級については、Aパート6位までを九州ブロックの代表として全国大会の出場権を与える。

16 コロナ対策について

- ・大会に参加する選手、指導者、大会スタッフ、報道関係、視察員、等は6月18日(金)から6月23日(水)の体温と体調を健康チェックシートに記入し、6月24日(木)エントリーズチェック時に確認を受ける。
- ・今大会は無観客試合とする。開、閉会式も密を避けるため中止とする。但し、団体表彰は27日(日)競技終了後行う。(1位2名、2位1名、3位1名)
- ・インテグリティ - 研修も密を避けるため行わない。
- ・監督会議については、密を避けるため各県代表1名で行う。
- ・競技者以外の大会スタッフは必ずマスク着用し、レフェリーとセコンド(2名以内)はビニール手袋を着用すること。(マスク・ビニール手袋は各校で準備をお願いします。)
- ・インターバル中の給水は認めるが、うがい後の水の吐出し用バケツは準備しないので、必要とする場合は、各学校でうがい用のバケツを準備すること。また、うがいで吐いた水については、所定の場所(トイレ)に各自で責任をもって捨てること。
- ・マウスピース洗浄用の水は各自で準備をすること。
(各試合で配布する水は1本、マウスピース洗浄用の水の持ち込みは許可)
- ・控室等での選手間には適切な距離を保ち、手洗いうがいをおこない、設置してあるアルコール消毒をこまめにおこなうこと。